非核化 入り口すら遠く

米朝首脳会談1カ月

【ワシントン会川晴之、ソウル渋江千春】6月12日にシンガポールで開かれたトランプ米大統領と北朝鮮の金正恩（オンジョン）朝鮮労働党委員長による米朝首脳会談から1カ月。共同声明には「完全な非核化に向けて努力」との文言が入ったが、その後は進展が見られず、非核化プロセスの最初の一歩である核兵器や施設に関する申告のめども立っていない。

ポンペオ米国務長官が訪朝した6～7日の米朝協議の直後、北朝鮮外務省は報道官談話で核・ミサイルなど大量破壊兵器計画に関する申告や検証の要求に対し、強く反発した。

非核化に向けた作業を始めるには申告が不可欠だが、北朝鮮は1985年に核拡散防止条約（NPT）に加入した際も、条約で義務付けられている半年以内の申告書提出を6年以上も遅らせ、その内容も極めて不完全だった経緯がある。

申告が当面の最重要課題となるのは、北朝鮮の核施設の多くが国際原子力機関（IAEA）などの査察を受けておらず、「秘密のベール」に包まれているためだ。北朝鮮は北西部寧辺（ニョンビョン）にある核施設から、2009年春にIAEA査察官を追放して以後、ウラン濃縮施設や軽水炉などの新たな施設の整備を進めた。

さらに米国などの専門家は、寧辺以外の場所に「秘密濃縮施設」が存在すると指摘。米シンクタンク、科学国際安全保障研究所（ISIS）のオルブライト所長は、脱北者や米政府当局の情報などをもとに「カンソン」と呼ばれる場所に、寧辺の施設の2倍の能力を持つ濃縮施設が存在すると分析、核兵器用の高濃縮ウランを製造していると見ている。

また、寧辺の原子炉に使う核燃料製造施設も、09年以後は不明の状態にある。寧辺にはかつて、5メガワット黒鉛減速炉用の核燃料を製造する施設があったが、10年秋、その建物が濃縮施設に置き換えられたことが確認された。原子炉には新たな核燃料が供給されており、ウラン鉱山や精錬所（ジョウレンショ）がある南部の平山など複数の施設での製造が有力視されている。

北朝鮮が申告にいつ応じるのかが当面の焦点だが、ポンペオ氏は9日、アフガニスタンでの演説で「北朝鮮の非核化は何十年もかかる取り組みだ」と述べ、「長期化もやむなし」とも取れる姿勢を見せている。

所在が明らかな主な核施設

場所	施設名	状況
寧辺	5メガワット黒鉛減速炉	断続的に稼働
	再処理施設	断続的に稼働
	濃縮施設	査察実績なし。実態不明
	軽水炉	完工間近
豊渓里	地下核実験場	査察実績なし。5月下旬に爆破
平山	ウラン鉱山・精錬所	過去数年に大きな変化あり
博川	ウラン鉱山・精錬所	最近の動向は不明

所在不明の主な核施設

施設名	状況
濃縮施設	軍事用施設が存在する可能性大
ウラン転換施設	平山などに存在する可能性あり
核燃料製造施設	平山、寧辺などに存在説
核兵器組み立て施設	不明
核兵器貯蔵施設	不明

平壌の空港で金英哲朝鮮労働党副委員長（右）と言葉を交わすポンペオ米国務長官（左）＝7日、AP共同

遺骨返還協議 北朝鮮が欠席

【ソウル渋江千春】朝鮮戦争で戦死した米兵の遺骨返還問題で、12日に板門店（パンムンジョム）で予定されていた北朝鮮と米国との実務会談が延期されたと、聯合（レンハプ）ニュースが伝えた。北朝鮮側の出席者が現れなかったためという。

この日の実務会談は6～7日、訪朝したポンペオ米国務長官と北朝鮮の金英哲（ヨンチョル）朝鮮労働党副委員長間の高官級協議で合意されていた。聯合ニュースは韓国政府当局者の話として「北朝鮮側の準備ができていなかったようだ。いつ会うかについて連絡を取っている状況で、米国側から何らかの発表がある可能性がある」としている。

遺骨返還は6月の米朝首脳会談の共同声明で合意された事項。トランプ米大統領は同月20日、約200柱の米兵遺骨が送り返されたと述べたが、ポンペオ氏は否定していた。

日本 戦略練り直し迫られ

非核化を巡る米朝協議が難航していることを受け、米朝関係の好転に合わせて拉致問題の解決を目指してきた日本政府は戦略の練り直しを迫られている。

「金正恩朝鮮労働党委員長には指導力がある」。安倍晋三首相は6月18日の参院決算委員会でこう金委員長を持ち上げ、日朝首脳会談の実現を呼びかけた。「相互不信という殻を破って一歩踏み出したい」とも語り、信頼醸成を進める考えも示した。

日本政府は当初、米朝交渉が進展すれば、北朝鮮が拉致問題への態度を変えうると期待。加えて、日朝平壌宣言（2002年）に基づく国交正常化後の経済協力をちらつかせ、正常化の条件として拉致問題解決を迫る算段だった。

だが、北朝鮮の対応に変化はなく、国営ラジオ「平壌放送」は6月下旬に「ありもしない拉致問題をわめき立てている」と批判。外務省幹部は「北朝鮮は米朝交渉を優先しており、まだ拉致問題への関心が高まる段階にはない」と指摘するが、その米朝交渉の進展に不透明感が漂う。

日本政府は、金委員長が出席する可能性がある9月のロシア・ウラジオストクでの国際フォーラム、米国での国連総会に合わせた首脳会談を探るが、実現は見通せない状況だ。

政府はあくまで拉致問題の解決を優先する構えだが、与党内からは「国交正常化の後、拉致問題解決を探る選択肢もある」との声も上がり始めている。

【小山由宇】

NATO 結束に不安

首脳会議 米、公然と同盟国批判

【ブリュッセル八田浩輔、高本耕太】12日に閉幕する北大西洋条約機構（NATO）首脳会議は、トランプ米大統領が軍事支出や対露姿勢を巡って公然と同盟国批判を繰り返す異例の展開となった。首脳会議ではロシアを念頭に置いた抑止力強化や集団的自衛権は「同盟の根幹」とする共同宣言をまとめたものの、世界最大の軍事同盟の中で米国と欧州との溝の深さがあらわになった。（2面参照）

「NATOの歴史では多くの相違があった。そしてそれらを繰り返し克服してきた」。11日夕、NATOのストルテンベルグ事務総長は記者会見の冒頭で強調した。ストルテンベルグ氏が「成果」ではなく「相違」から語り始めたことが、今回の首脳会議を象徴していた。

「ドイツは完全にロシアに支配されている。NATOにとって非常に悪いことだ」。ストルテンベルグ氏との会談でドイツ批判を繰り返したトランプ氏。独露間をつなぐ天然ガスパイプライン計画をやり玉に挙げ「ドイツはエネルギーの60～70％をロシアから得ている」と断言した。ドイツが天然ガスでロシアに依存するのは事実だが、国内のエネルギー構成では天然ガスは2割に満たない。欧州に米国産の液化天然ガス（LNG）を熱心に売り込むトランプ氏にとって、ロシアへの依存度を下げることは商機に直結する。

欧州主要国はトランプ氏の挑発を受け流した。マクロン仏大統領は「ドイツはロシアに支配されている」との見解を共有するかと報道陣に問われ、「ノー」と即答した。

一方、「トランプ氏の圧力が、NATOの即応体制強化を加速させた」（米紙ウォールストリート・ジャーナル）との評価もあり、ロシアの脅威に危機感を募らせる東欧諸国からは歓迎の声も上がる。またトランプ氏が加盟国に圧力をかける応分の防衛負担要求は、歴代米政権の一貫した主張。軍事支出を国内総生産（GDP）比2％以上とする共通目標はオバマ前政権時に決まり「トランプ政権で言葉が激しくなっただけ」（NATO外交筋）との声もある。

しかし、トランプ氏による同盟の意義や戦後の世界秩序を否定するような発言や通商問題と安全保障を関連付ける姿勢が、同盟の信頼関係を著しく損ねているのは確か。トランプ氏という「劇薬」が米欧関係を揺るがす状況は今後も続きそうだ。

NATO首脳会議の関連会合に出席するNATOのストルテンベルグ事務総長＝ブリュッセルで12日、ロイター

ツイッター用い露が会議に反応

【モスクワ大前仁】ロシア外務省の公式ツイッターは11日、NATO首脳会議について「役に立たない軍事同盟であるNATOは我々が挑発的な行動を取っていると非難し、ブリュッセルで歯ぎしりしている」と書き込んだ。そのうえでサッカーのワールドカップ（W杯）準決勝で対戦したイングランドとクロアチアのサポーターの写真を添付し、「我々はW杯を観戦する用意をしている」と歯牙にもかけない姿勢を強調した。

メイ氏「友好」演出へ

「孤立」回避に距離感腐心

トランプ氏訪英

【ロンドン三沢耕平】北大西洋条約機構（NATO）の首脳会議に出席していたトランプ米大統領は12日、ブリュッセルから次の訪問地・英国に向かう。来春に欧州連合（EU）を離脱する英国にとって米市場との関係強化は不可欠で、メイ英首相は13日のトランプ氏との会談で「特別な関係」を確認し、友好ムード

「ノビチョク」

【ロンドン時事】英南部イームズベリーで男女が神経ノビチョクにさらされた事件で、警察の対テロ部門責任者ニール・バス氏は、ノビチョクの毒性効果が50年持続する能性があることを明らかにした。BBC放送が11日伝えた。

バス氏はエイムズベリーの会合で、「ノビチョクが閉容器に入れられ、ゴミ処場のような所に置かれていら、誰にも触れられず問題なかった。ただ科学者らの